

## 船舶事故調査報告書

平成22年3月4日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年4月18日 08時00分ごろ船長が発見された。）
発生場所	不明（鳥取県米子市崎津港防波堤灯台から真方位151° 150m付近（概位 北緯35° 28.3′ 東経133° 14.9′）で船長が発見された。）
事故調査の経過	平成21年9月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>しょうえい</sup> 正栄丸、1.0トン TT3-7408（漁船登録番号）、個人所有 5.79m（Lr）×2.04m×0.74m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数25、平成2年5月30日
乗組員等に関する情報	船長 男性 77歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成1年3月22日 免許証交付日 平成16年5月11日 （平成21年5月10日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	不詳（船体行方不明）
事故の経過	本船は、船長が1人で乗船し、ぼら <sup>かりざしあみ</sup> 狩刺網漁を行うため、平成21年4月5日19時過ぎごろ、鳥取県米子港内の係留地を出港し、中海の漁場に向かった。 船長は、通常、0時ごろ帰宅していたが、翌朝になっても帰宅しなかったため、家族が漁協に連絡した。僚船及び海上保安庁の巡視艇、航空機により捜索が行われたが、船長及び船体は発見されなかった。その後、4月18日崎津港入口付近で、漁協組合員により身元不詳の遺体が発見され、4月28日に身元（船長）が判明した。検案により、4月上旬頃、溺死したものと推定された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南～南南東、風速 1～1.9m/s 海象：平穏
その他の事項	船長の健康状態は良好であり、日頃から、上下の合羽及びゴム長靴を着用していたものの救命胴衣を着用していなかった。また、遺体発見時には、救命胴衣を着用していなかった。 ぼら狩刺網漁は、魚群を包囲するよう半円状に刺し網を投入したのち、

	船から照明灯を照射して魚を網に追い込むもので、本船は、中海内だけで操業を行っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は、検案により溺死であると推定された。 本船は、中海の漁場に向けて、米子港内の係留地を出港した後、船長が落水したものと考えられる。 落水した状況については、明らかにすることはできなかった。 船長は、救命胴衣を着用していなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が中海の漁場に向けて、米子港内の係留地を出港した後、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	